

9. 201系統から270系統、鴨居東本郷線

系統番号	起点	途中経由地	終点	担当営業所	共同運行	運行頻度	備考
201	横浜駅西口	松本、三ツ沢上町駅前、横浜国立大学正門前、国大西、常盤台住宅、和田町、洪福寺、岡野町	横浜駅西口	浅間町		DC →	平日の日中のみ運行
	横浜駅西口	松本、三ツ沢上町駅前、和田町、洪福寺、岡野町	横浜駅西口	浅間町		DC →	土曜、休日の日中のみ運行
	浅間町車庫前	岡野町	横浜駅西口	浅間町		IB →	浅間町車庫前→横浜駅西口間は上とあわせて頻度A
202	横浜駅西口	岡野町、洪福寺、和田町、三ツ沢上町駅前、松本	横浜駅西口	浅間町		B →	
	横浜駅西口	岡野町	浅間町車庫前	浅間町		IB →	横浜駅西口→浅間町車庫前間は上とあわせて頻度A
201・202 系統解説	<p>横浜にも昔はトrolleyバス(無軌条電車)が走っており、このトrolleyバスの後を引き継いだのが201系統、202系統です。201系統が内回り、202系統が外回りです。内回り線は外回り線と同じ経路でも交通量の多く、なかなかダイヤ通りに走れないこともあってか本数は1時間に1本程度しかありません。内回り線は横浜駅西口を出ると鶴屋町3丁目を直進、松本で左折し、横浜新道を走ります。三ツ沢上町駅、岡野町を経て和田町交差点で左折し、洪福寺方向に向かいます。洪福寺で左折、浅間下で右折し、岡野町から横浜駅西口に戻ります。かつてあった「横浜国大」行は2007年3月末の改変で廃止されました。また、201系統(循環線)も廃止対象となりましたが、暫定運行路線化され、2009年4月からは日中のみですが正規路線に復活しました。その後2011年3月22日から201系統が平日に限り横浜国立大学構内に乗り入れるようになりました。かつての「横浜国大」とは違い、大学の構内の奥の方まで入っていくルートをとります。</p>						
203							
203系統 解説	<p>200番台の系統は201系統、202系統以降、東戸塚地区のバスにつけられました。204系統と205系統は比較的早い時期に廃止となりましたが、203系統と206系統はその後も残りました。路線は上大岡駅から芹ヶ谷を経て、平戸で右折、国道1号との合流で左折し、品濃口まで国道1号を走ります。品濃口で右折し、東戸塚駅へ行くものでした。品濃口から東戸塚駅間は道が狭く、行きと帰りで走るルートが異なっていました。203系統は全線を通して走るバスはあまりなく、もっぱら芹ヶ谷～東戸塚駅の運行となっていました。全線神奈中バスと併走することから移譲対象路線となり、2005年7月のダイヤ改正で運行本数が大幅に削減され、同時に芹ヶ谷～東戸塚駅間の区間便の運行も廃止されました。また、2005年11月末のダイヤ改正でさらに一部の便が神奈中バスに移譲され、市営バスとしては休日運休となりました。その後2006年1月28日の運行をもって市営バスは撤退し、路線は廃止となりました。</p>						
204							
204系統 解説	<p>203系統と同じく、上大岡駅～東戸塚駅線として開業しました。こちらは港南区総合庁舎、上永谷駅経由でした。ちなみに、神奈中バスには南高校経由という路線があり、こちらは上202系統を名乗っています。</p>						
205							
205系統 解説	<p>203系統、204系統と同時に新設されました。路線は東戸塚駅から平和台、元町橋交番経由の保土ヶ谷駅東口行きでした。JR線や神奈中バスには東戸塚駅～横浜駅西口というような路線があったこともあってこの系統はあまりバスの本数もありませんでした。いつかこちらも廃止となってしまいました。なお、神奈中バスの東戸塚駅～保土ヶ谷駅東口線は205系統と併走していたことから今でも205系統を名乗っています。</p>						

9. 201系統から270系統、鴨居東本郷線

系統番号	起点	途中経由地	終点	担当営業所	共同運行	運行頻度	備考
206							
206系統解説	東戸塚駅から平戸、芹ヶ谷を経由し、向田橋から鎌倉街道に入り、弘明寺、南区役所を結ぶ循環線でした。上大岡駅の近くを通りながらも、上大岡駅に乗り入れない路線でした。区役所対策の路線のため、平日の日中と土曜日の午前中のみの運行となっていました。芹ヶ谷地区は神奈中バスへの路線移譲対象となり、206系統も2006年1月28日の運行をもって市営バスは撤退し、神奈中バスの運行となりました。なお、神奈中バスに変わってからは土曜日の運行が廃止されました。						
207							
207系統解説							
208							
208系統解説							
209							
209系統解説							
210	東戸塚駅前	品濃谷宿公園、境木地蔵尊	境木中学校前	保土ヶ谷		B	小型車(リフトバス)、中型車(境木中学校発着便の一部便)運行 東戸塚駅～境木中学校間は平日はトータルで運行頻度A、土曜・休日は運行頻度B 平戸2丁目循環線で深夜バス運行
	東戸塚駅前	品濃谷宿公園、境木地蔵尊、境木中学校前、平戸2丁目	東戸塚駅前	保土ヶ谷		C →	
210系統解説	本格的に小型車両を導入した路線です。1995年12月に新設されました。東戸塚駅を出ると他の系統とは異なり、左折して新たに造成された道路を走ります。境木中学校までは途中、品濃谷宿公園、境木地蔵尊のバス停があります。境木地蔵尊から境木中学校の間が特に道路の狭い区間です。この区間にバスを走らせるために小型車での運行となりました。現在は境木中学校から平戸2丁目周辺を循環する系統もでき、バラエティ豊かな系統構成になりました。2005年12月12日から一部中型車化され、平戸2丁目循環線では小型車による深夜バスも運行するようになりました。						
211	鶴ヶ峰駅	下白根橋、愛宕旭環境センター	福寿荘前	保土ヶ谷		C	小型車(リフトバス)運行
211系統解説	鶴ヶ峰駅から国道16号線をしばらく上り、下白根橋で左折し、福寿荘前まで行きます。一時は62系統に子系統を設けて鶴ヶ峰駅～千丸台団地線を作る予定もあったようですが、結局この路線が出来ました。 路線新設から2004年12月26日までは若葉台営業所が担当していましたが、2004年12月27日から保土ヶ谷営業所が担当する事となり、小型車による運行に変更となりました。						

9. 201系統から270系統、鴨居東本郷線

系統番号	起点	途中経由地	終点	担当営業所	共同運行	運行頻度	備考
212	保土ヶ谷駅東口	北永田、山王下、瀬戸ヶ谷小学校、東伸坂上、八幡橋	保土ヶ谷駅東口	保土ヶ谷		C →	小型車(リフトバス)運行 保土ヶ谷駅東口～保土ヶ谷駅東口 の循環部は頻度B 保土ヶ谷駅東口～保土ヶ谷駅東口 の循環線で深夜バス運行
	保土ヶ谷駅東口	北永田、山王下、瀬戸ヶ谷小学校、東伸坂上、八幡橋、保土ヶ谷駅東口	保土ヶ谷車庫前	保土ヶ谷		C →	
	保土ヶ谷車庫前	保土ヶ谷駅東口、北永田、山王下、瀬戸ヶ谷小学校、東伸坂上、八幡橋	保土ヶ谷駅東口	保土ヶ谷		C →	
	保土ヶ谷車庫前	保土ヶ谷駅東口、北永田、山王下、瀬戸ヶ谷小学校、東伸坂上、八幡橋、保土ヶ谷駅東口	保土ヶ谷車庫前	保土ヶ谷		C →	
212系統 解説	2000年5月から運行を開始した路線です。これまで交通の便の余りよくなかった保土ヶ谷区の瀬戸ヶ谷地区を小型車を用いて運行します。保土ヶ谷駅を出ると保土ヶ谷橋で左折、次いで北永田で右折し、79系統の経路をしばらく走った後で瀬戸ヶ谷地区に入り、こまめに回った後で急坂を下り、保土ヶ谷町2丁目に抜けて再び保土ヶ谷駅に戻る路線となっています。2001年10月から一部のバスが保土ヶ谷車庫前発着となりました。						
213	新子安駅西口	大口駅東口、神之木町、駒形天満宮下、神之木公園、大口駅東口	新子安駅西口	鶴見		C →	一方循環
213系統 解説	2002年3月から運行を開始した路線です。新たに整備された新子安駅西口のバスターミナルから大口駅を経由して神之木町地区を循環する路線です。新子安駅西口のバスターミナルを出て左折し、24系統の通りに出たら右折、西寺尾小学校までは24系統横浜行きと同じ経路を通り、西寺尾小学校の信号の一つ先の横断歩道を右折ししばらく直進します。オレンジのセンターラインが白に変わる所を右折ししばらく道なりに直進、坂を登り切ったところの信号を右折し、あとは坂を下りてくると、24系統の神之木町～大口駅東口間(ユニー前)の信号に出ます。そこを左折ししばらくは24系統生麦行きと同じ経路を走り、国道一号を渡って一つ目の信号を左折、坂を登って新子安駅西口へ右折で入って終点となります。						
214							
214系統 解説							
215	新杉田駅前	杉田坪呑中央、大谷第1公園、杉田台中、杉田梅林	新杉田駅前	磯子		C →	一方循環 小型車(リフトバス)運行 土曜、休日は頻度B
215系統 解説	2005年12月26日から運行を開始した路線です。新杉田駅前を出て国道16号線を少し走り、杉田坪呑中央を経由して大谷団地の中を循環し、再び杉田坪呑中央に出て新杉田駅前に戻ります。						
216							
216系統 解説							
217	港南台駅前	港南台第三小学校前、日野中央2丁目(循環)	港南台駅前	港南		DC →	一方循環 日中のみ運行
217系統 解説	2008年4月21日から運行を開始した路線です。港南台駅から港南台中央を経て新設区間に入ります。通称オレンジトンネルを抜けて日野中央地区を循環(ラケット状循環)して港南台駅に戻る路線です。日中の余剰車両を有効活用し、昼間(9時台～16時台)のみの運行となります。						

9. 201系統から270系統、鴨居東本郷線

系統番号	起点	途中経由地	終点	担当営業所	共同運行	運行頻度	備考
218	福寿荘前	下白根橋、西谷駅前、梅の木、上菅田小学校前、梅の木、西谷駅前、下白根橋	福寿荘前	保土ヶ谷		C →	一方循環 西谷駅前～望洋台地区 土曜、休日は頻度B
	福寿荘前	下白根橋、西谷駅前、梅の木、上菅田小学校前、梅の木、西谷駅前	新井中学校前	保土ヶ谷		C →	
	新井中学校前	西谷駅前、梅の木、上菅田小学校前、梅の木、西谷駅前、下白根橋	福寿荘前	保土ヶ谷		C →	
	新井中学校前	西谷駅前、梅の木、上菅田小学校前、梅の木、西谷駅前	新井中学校前	保土ヶ谷		C →	
218系統解説	2004年12月27日から運行を開始した路線です。西谷駅から少し行った望洋台地区への足として新設されました。バスは福寿荘前から発車し、下白根橋、西谷駅前を通り、梅の木交差点で左折します。梅の木(西谷駅方向は「山崎」バス停)から左に折れ、急坂を上り望洋台地区へ入ります。望洋台地区、上菅田小学校付近を一回りし、元のルートに戻って西谷駅前、福寿荘前へと戻ります。小型車を使用した路線です。 2011年3月7日から西谷駅から興和台地区への乗り入れが開始されました。興和台地区の新井中学校前を起終点とし、西谷駅前を経由し望洋台を回り、福寿荘前または新井中学校前に戻る路線が追加されました。						
219	弘明寺	藤の木、外語短大正門前、三殿台公園、藤の木	弘明寺	滝頭		C →	一方循環 小型車(リフトバス)運行
	弘明寺	藤の木、外語短大正門前、三殿台公園	みつが丘中央	滝頭		C →	小型車(リフトバス)運行
	みつが丘中央	外語短大正門前、三殿台公園、大岡坂上、藤の木	弘明寺	滝頭		C →	小型車(リフトバス)運行
219系統解説	2006年3月22日から運行を開始した路線です。弘明寺から藤の木を経て坂を上り三殿台遺跡の近くの外語短大、三殿台公園周辺を一回りする路線です。南区と磯子区の区界付近にある三殿台遺跡周辺はこれまで路線バスがなく、三殿台遺跡に行くにも蒔田駅から徒歩、あるいは9系統などの「天神前」バス停から徒歩(いずれも坂を登る必要があります)という状態が続いていましたが、これで解消されました。小型車を使用した路線です。2014年6月1日から「みつが丘中央」への乗り入れを開始しました。みつが丘中央発はみつが丘中央を出たあと三殿台を一周りして弘明寺に向かいます。						
220							
220系統解説							
222	山手駅前	上野町、ガス山通入口、観音院前、本牧緑ヶ丘、本牧和田(循環)	山手駅前	本牧		B →	一方循環、朝夕夜運行 小型車運行
	山手駅前	上野町、ガス山通入口、本牧緑ヶ丘、本牧和田、和田山口、箕輪谷戸、ガス山通入口、上野	山手駅前	本牧		C	日中のみ運行 小型車運行
222系統解説	2007年10月28日から運行を開始した路線です。これまで20系統のみ乗り入れていた山手駅から通称「ガス山」と呼ばれる地域を回る循環バスです。朝夕はガス山地区を循環し本牧和田で折り返していきませんが、日中は和田山口方面を回る循環線となります。 山手駅前から上野町の区間は20系統と同じルートを走ります。上野町バス停と千代崎町バス停の間の交差点を曲がり、以降は本牧通りの一本裏の道を走ります。小型車による運行路線です。						

9. 201系統から270系統、鴨居東本郷線

系統番号	起点	途中経由地	終点	担当営業所	共同運行	運行頻度	備考
鴨居東本郷線	鴨居駅前	牧野記念病院、東本郷郵便局、三菱公園	東本郷ケアプラザ	緑		RC	朝夕のみ運行 小型車(リフトバス運行)
	鴨居駅前	牧野記念病院、東本郷1丁目、東観寺入口、三菱公園	東本郷ケアプラザ	緑		DC	日中のみ運行 小型車(リフトバス運行)
鴨居東本郷線 解説	2007年3月25日から運行を開始した緑営業所初の小型車使用路線です。内部的には221系統として扱われていますが、時刻表表示などは「鴨居東本郷線」として無系統扱いとなります。 路線は朝夕と日中で運行経路が異なります。朝夕は東本郷郵便局、三菱公園を経由してまっすぐに東本郷ケアプラザへ向かうルートで走ります。一方日中は東本郷町地区を細かく回って終点の東本郷ケアプラザへ向かいます。						
240	中山駅前	森の台中央、メープルランド、火の見櫓	中山駅前	緑		C →	一方循環 中型車運行
240系統 解説	2013年3月30日から運行を開始した路線です。中山駅を出ると台村町へ向かい、交差点を左折。緑区役所の脇を通り森の台に入ります。当初は朝夕は中型車を使用してメープルランド、遊水池西を通り先ほど通ってきた道に戻り、中山駅に戻るルート、日中は小型車を使用して台村中央、火の見櫓を経由して台村町に戻り、中山駅に至るルートの2路線ありましたが、2014年3月29日の変更で日中ルートに統一されました。						
260	東戸塚駅前	境木地蔵尊、権太坂上、狩場町	平和台折返場	保土ヶ谷		C	中型車運行
260系統 解説	2014年3月29日から運行を開始した路線です。210系統の一部を差し替えた路線で、東戸塚駅前から品濃谷宿公園、境木地蔵尊と進みます。境木中学校前のバス停には止まらず、権太坂上バス停に進みます。権太坂上バス停から児童遊園地入口、狩場町へと進んで平和台折返場に向かいます。						
270	横浜駅前	(直行)←方向のみ横浜駅改札口前に停車	赤レンガ倉庫	本牧 滝頭		C	土曜、休日のみ運行
270系統 解説	2011年9月3日から運行を開始した路線です。横浜駅前と赤レンガ倉庫間を直行(赤レンガ倉庫発は「横浜駅改札口前」にも停車します。この区間はかつて141系統、ワンコインバス横浜駅ルートが運行されていましたが、今回は直行路線となっています。						